

【新しい技術とエネルギー利用による社会構築・街開発へ — トヨタG/日野自動車本社工場跡地(43ha)を対象】

作製：鈴木浩二 総合プロデューサー
顧問：石原信雄 元官房副長官
Revised in May / Mar. 2014

“E³ Hub City” — 「Economy+Hub」「Ecology+Hub」「Entertainment+Hub」City
“日本ブランドと国際ブランドがなる”

政府「日本再興戦略 — 中短期工程表」より施設支援を目標化
(予算対象を計画図内に表記)

地域雇用、新しい産業促進と繁栄を確保。

- 「民間の戦略構造」と「日本政府の成長戦略内の位置づけ」を持っての、「政府の法整備サポートと予算サポート」を得ての街づくり
- “Japanブランドからなるビジネスモデル輸出” をもつことのできる、日本におけるフラッグシップとなる街づくり
- 環境と車への、国内外企業・技術者・経営者の研修機能と、優秀な海外起業家の導入により、世界で一番ビジネスのしやすいエリアをめざす。

1. 日本が誇る製造業(車産業)拠点資源を「サービス産業拠点ハブ」として再生。
2. 環境技術、車生産・開発技術を民生化、面的開発利用させての「ビジネスモデル化されたエコシティづくり、サービスインフラづくり」を国内外でのハブ拠点化へ。
3. 日野自・トヨタ/東京都府の、内需拡大・消費拡大への突破口となる高度な事業戦略(民間-国政-自治を横断)を持つ街づくり。

政府の法整備サポートと予算サポートへ：
目標「民間」が主導予算の集中と、インセンティブ獲得(規制・制度の改革、税制支援等)に向け、戦略化。

開発コンセプト：

「日本再興戦略」中短期工程シナリオの成果となる国家プロジェクト 資質を有する開発として、実戦力ある民間戦略と、国政・行政(自治)戦略の複合を図る。
政府・国政支援のインセンティブ提供・確保により、国内外の投資集約と面開発への投資軽減化を図る。

- 対象面積 43ha(本社13ha)

